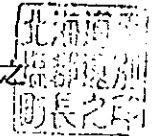


遠 総 号
平成20年10月 9日

国土交通省道路局長 様

北海道遠別町長 川 島 茂



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお取り計らい
願います。

農畜産物の販路・広域観光ルートの拡大、産業・経済・文化・交流を発展させることは、地域間の活性化においては、重要なことであり、そのためにも、

- ① 高速自動車道や高規格道路をはじめとする道路網の形成、②災害時におけるルート確保、③冬期間の交通障害対策等を重点的に行うべき。

都市間距離が長い本道は、本州と比べ高速交通体系整備が遅れており、都市間の移動時間の短縮を図る整備や、地域の可能性を発揮できる環境を整えるために、必要な道路整備を着実に整備するとともに、高速道路の料金引き下げなど利用者の利便性を高めたい。

また、道路建造物の高齢化が進行し、今後急速に更新時期を迎える道路建造物の予防保全を推進し、早期補修等により延命化を図るなどして道路施設の維持・修繕・改良・更新を計画的に推進していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道天塩郡遠別町

○現状	○課題
JR路線の廃止により、バスが唯一の移動手段であるこの町においては、家用自動車による依存度が高い。 この過疎地においても、町民の生活水準を維持し、郷土を守り、経済・社会活動の活性化を図り、安全で安心できるまちづくりを進めている。	・ 道路維持への予算の確保 ・ 国道232号における狭隘橋梁による安全への不安 ・ 緊急高度医療へのルート確保(名寄遠別線の早期開通) ・ 冬期間の交通の確保(適切な徐排雪、吹雪対策) ・ 道路建造物の高齢化対策 ・ 地球温暖化への配慮

少子高齢社会においても、交通の安全を確保し、高規格道路から居住地域内の生活道路に至るネットワークによって、適切に機能が分担されるような道路体系が推進され、唯一の公共交通機関であるバスとの連携強化によ、安全・安心・快適な地域交通が確保されることによって、地域産品と地域資源を活用した「小さくても元氣あふれる」まちづくりを目指している。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・都市間交通の快適性、利便性の向上	・深川留萌自動車道の整備 ・開発道路名寄遠別線の整備	札幌市への時間短縮により、通院や日帰り観光等の利便性向上。 早期の留萌市までの開通を期待する。 地域医療センター、名寄市総合病院への通院が期待され、また、新たな物流ルート、広域観光ルート等、産業、経済、文化交流の発展など地域間の活性化に大きな期待が持たれている。 災害時の代替えルートとして期待される。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・良好な景観の形成	・効果的な徐排雪の実施 ・防雪柵の設置	徐排雪の実施や、防雪柵の設置による地吹雪による視界の確保による冬期間の交通安全が向上する。 景観に配慮した、収納式の採用によって、道路景観の向上で観光人口の増加が期待される。	